

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 27 年 4 月 13 日 (N0.51)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

浦幌町小中一貫 CS の

## 年次推進計画

**第 1 期** 平成 24～26 年度  
 ステージ 1・「視察」 先進地域の視察研修

**第 2 期** 平成 27～29 年度  
 ステージ 2・「実施」 小中一貫 CS の実施  
 先進地域の視察研修や試行をもとに本格実施します。

**第 3 期** 平成 30～32 年度  
 ステージ 3・「改善」 PDCA サイクル改善

## 小中一貫CS推進協議会

4 月 28 日、第 1 回小中一貫 CS 推進協議会を開いて組織体制を確立し、各学園の主な事業内容について協議・交流します。

### (1) 推進協議会の構成

教育長、校長(5 名)、各学園の部会長(3 名×2 学園=6 名)、公民館長  
 他に会長(教育長)が認めた者(教頭 1 名)など

### (2) 各学園の主な事業内容例

- 「学園小中一貫 CS 推進協議会」の組織確立、活動計画の策定
  - ・ 3 部会(学習指導、生徒指導、うらスタ)に所属して活動
- 小中 9 年間を見通した教育課程の編成・実施
  - ・ 総合学習、キャリア教育、算数・数学
- 教職員の合同研修、ジョイント教室、乗り入れ授業等の実践
  - ・ 学校支援ボランティアの活用等
- 学園教育目標や子ども像について熟議
  - ・ 学園パワーアッププラン(到達目標)の作成・実施
- コミュニティ・スクールについて研究協議
  - ・ 学園小中一貫 CS 委員会との連携、研修の推進

## 熟議の 必要性

■①地域でどのような子どもを育てたいのか、その子ども像を共有する。  
 ②そのためにより、学校と地域が一緒にできることは何か。こうしたいことについて熟議を重ねることにより、「納得のプロセス」が得られていきます。  
 学校運営協議会などで熟議を深めていきましょう。

## CS担当の教員配置

**今年度、CS 導入等促進事業を行うために教員が配置されました。**  
**CS 担当者は、CS を効果的に導入するため、学園長や校長の指示に従い、協力・分担しながら全教職員と共に次の業務(例)を推進します。**

- ・ 学校運営協議会(学園小中一貫 CS 委員会)の機能化
- ・ 学校支援の機能化      ・ 学校関係者評価の機能化
- ・ 小中一貫の教育課程の編成と実施      ・ その他

なお、活動の様子を「CS 導入等促進事業記録」に残し、効果的な活用に努めます。